

令和4年度第2回教育課程編成委員会 議事録

日 時 : 令和5年3月16日(木) 11時00分～12時30分

場 所 : 多摩リハビリテーション学院専門学校 学院ホール 201 教室

教育課程編成委員: 林義巳副学院長、岩戸徹教務部長、(作業療法学科) 清水誠学科長・中村晃一主任・横濱秀征副主任、(理学療法学科) 佐藤譲司学科長・成塚修一主任、(言語聴覚学科) 木村欣司学科長・西片裕主任、(介護福祉学科) 鈴木健二郎学科長・竹内克主任、藤枝幹大主任、黒田英寿事務長、景山雄介広報課長、師岡静枝情報システム課長、大堀隆二氏(社会福祉法人一石会統括施設長、青梅商工会議所常議員)、鈴木康雄氏(医療法人社団和風会リハビリテーション部長・PT)、人見太一氏(杏林大学)、池田健祐氏(所沢リハビリテーション病院リハビリテーション科技士長・OT)、赤松栄晃氏(所沢リハビリテーション病院リハビリテーション科課長・ST)、委員20名

記

1. あいさつ

- ・教育課程編成委員会規定、教育課程編成委員会等の位置付けに係る規定
⇒林副学院長より説明があった

2. 自己紹介

- ・(新) 鈴木康雄氏 [(旧) 池田隆純氏]、(新) 師岡静枝氏
⇒新任の紹介。

3. 各学科から令和4年度報告(令和5年3月16日時点)

- ①卒業生数、国家試験結果 ②入学者数、進級者数、留年者数、退学者数
- ③講義・臨床実習の学生状況(各学年の学内実習数・学外実習数、内容) ④カリキュラム編成について

- ・理学療法学科・・・佐藤学科長より
 - ・作業療法学科・・・清水学科長より
 - ・言語聴覚学科・・・木村学科長より
 - ・介護福祉学科・・・鈴木健二郎学科長より
- 添付資料参照。

4. 協力要請(講義・実習)・・・岩戸教務部長より

- 岩戸教務部長より、講義・実習について協力要請を行った。
- 内容は添付資料参照。

5. 意見交換・その他

・外部委員からご意見、ご提案等

Q.オスキーのやり方はどうされているか？（林副学院長）

A.大学は一週間学習期間を設けて実技試験に入る。1人に2名体制。10分位行う。実技⇒採点⇒フィードバックをしている（人見氏）

Q.留年者が多い印象。なるべく回避できると良いがどのような教育をされていますか？（人見氏）

A.勉強が苦手な子が多い。マンツーマンでやっているが、心が病んでいたりなので心理的サポートも頑張っている。（清水学科長）

Q.現場と学校で交流を図って方向性が見えてきた。スタッフも講義させてもらっているが専門科目もしてみたい。また実習においては教員が現場に入り学生の指導を行うのも良いのではないか。通年実習も検討ください。（赤松氏）

Q.国家試験において、何が弱いかダメだったか分析できているか？（池田氏）

A.1年次オンライン授業が多く解剖学、生理学など大事なところが弱かった。名称も知らず実習に行っていた。基礎科目の重要性を改めて痛感した。（清水学科長）

聴覚、小児に力を入れていきたい。カリキュラム編成も検討。（木村学科長）

Q.介護福祉学科開設して基礎学力、語学力などどんな苦労があったか？（大堀氏）

A.法律や制度の授業の理解が難しい。日本語能力が高いと試験も受かりやすいので日本語の教育にも力を入れて行きたい。

黒田氏より

PTOTSTで職業実践専門課程の認可がおりそう。これも現場を持っていることで申請もしやすい。また修学支援新制度（無償化制度）も認可をいただいている。この2つを併せ持つことでより箔がつく。引き続き宜しくお願いします。

以上

教育課程編成委員会規定

(目的)

第1条 この規定は、多摩リハビリテーション学院専門学校が専攻分野に関する病院・施設、団体等との連携体制を確保し、職業教育の水準の維持向上を図るための教育課程編成委員会について必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を病院・施設等と連携し、職業形成のための課題を把握・分析し、教育課程（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等）の編成に関して審議する。

- (1) 国または地域の方向性に関する事項
- (2) 就職先において必要となる知識、技術に関する事項
- (3) 各授業科目の内容・方法の充実および改善に関する事項
- (4) その他、病院・施設等や学校の要請

(委員)

第3条 委員会の委員は学院長が指名する教職員の他、関係分野に関する病院・施設・団体等から広く選任し、少なくとも以下の①～②から1名、③から各学科に対し1名を委員に加えることとする。

- ①関係分野の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（関係施設の役職員は含まない）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

- 2 委員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 3 補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。

(委員長等)

第4条 委員会の委員長は学院長から指名を受けた者とし、委員会の会務を担当する。

- 2 委員長に支障がある時は、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は委員長が招集する。

- 2 会議は年2回開催することを定例とし、委員長が必要とした場合に追加開催する。
- 3 会議は、委員総数の過半数の出席をもって成立する。
- 4 議事は、出席した委員の過半数をもって行う。
- 5 委員長は、必要があると認めた時、委員以外の者を会議に出席させることができる。

(雑則)

第6条 この規定に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

(規程の改廃)

第7条 この規定の改廃は、学院長の承認を得て行うものとする。

附則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附則

この規則は、令和4年2月1日から施行する。

教育課程編成委員会等の位置付けに係る規定

(趣旨)

第1条 この規定は、多摩リハビリテーション学院専門学校の教育課程編成委員会等の位置付けに関し、必要な事項を定めるものとする。

(教育課程編成委員会の位置付け)

第2条 教育課程編成委員会は、教育課程編成委員会規定第2条に定める審議を行うための委員会とする。各種会議系図については、別に定める。

- 2 本委員会では、多摩リハビリテーション学院専門学校の学院長及び教育課程の責任者に対し、就業後の課題を踏まえ、臨床実習や授業科目・内容等について助言や講評を行う。
- 3 学科長は、本委員会で出された助言に対して学科内で検討しなければならない。その結果については、本委員会に報告を行うものとする。
- 4 学科長は、臨床実習等の実習指導の協力要請や授業担当の適任者について協力を仰ぐものとする。

(教育課程の編成)

第3条 教育課程の編成は、学科長を教育課程長とし、養成施設指定規則ならびに学科で定めるディプロマ・ポリシーにもとづき、国家試験受験資格に必要な授業科目、授業内容、単位数・時間数を定めるものとする。

- 2 教育課程の変更計画を行う際は、学内で検討するとともに、教育課程編成委員会の承認を受けて、国や自治体が定める期日までに申請を行うものとする。

(学校評価の意見の取り込み)

第4条 自己評価・学校関係者評価・第三者評価からの提言については、学校ホームページ上で公表するとともに、教育課程編成委員会で取り上げ改善に努めるものとする。

(規程の改廃)

第5条 この規定の改廃は、学院長の承認を得て行うものとする。

附則

この規定は、令和3年4月1日から施行する。

附則

この規定は、令和4年2月1日から施行する。

3. 各学科から令和4年度報告

【理学療法学科】

①卒業生数と国家試験結果

卒業生数 40/44 名

第 58 回理学療法士国家試験（合格者/受験者） 37/40 名（自己採点合格率 92.5%）

②入学者数、進級者数・留年者数・退学者数

入学者数（2022 年度）：42 名

進級者数・留年者数・退学者数

1 年生：42 名（進級：40 名・留年：0 名・休学：1 名・退学：1 名※）※進路変更

2 年生：42 名（進級：38 名・留年：0 名・休学：2 名・退学：2 名※）※進路変更

3 年生：44 名（卒業：40 名・留年：4 名・退学：0 名）

③臨床実習の対応（各学年の学内実習数・学外実習数、内容）

○1 年生／見学実習（1 週間×1）

対象学生：40 名（学内実習数：1 名、学外実習数：39 名）

学内実習の内容：専任教員による地域リハビリテーションに関する講義および実技。

学外実習の内容：地域リハビリテーションに関する実習

○2 年生／評価実習（3 週間×1）

対象学生：38 名（学内実習数：2 名、学外実習数 36 名）

学内実習の内容：PBL による課題作成と提出

学外実習の内容：診療参加型臨床実習形式で 60%実施、ハイブリット形式が 29%。従来形式が 5%でした。

○3 年生／臨床実習（9 週間×2）

対象学生：40 名 [学内実習数：1 名（9 週間）、学外実習数 40 名（1～7 週間学内実習含む）]

学外実習内容：

I 期：診療参加型臨床実習形式で 53%実施、ハイブリット形式が 42%、従来形式が 5%

II 期：診療参加型臨床実習形式で 56%実施、ハイブリット形式が 30%、従来形式が 8%

④カリキュラム編成について

変更は特になし。

【作業療法学科】

①卒業生数、国家試験結果（自己採点による）

卒業生数：32/38名（休学者を除く）

国家試験結果（合格者/受験者）：28/32名（自己採点合格率 87.5%）

②入学者数、進級者数・留年者数・退学者数

入学者数（2023年度）：34名（令和5年3月9日時点）

進級者数・留年者数・退学者数（令和5年3月9日時点）

1年生：43名（進級：38名・留年：2名・退学※：1名・休学：1名・除籍：1名）

※退学者1名は進路変更による。休学者1名は3月末日で退学予定。留年者2名は父兄と相談中で退学になる可能性もある。除籍1名は途中から連絡が取れなくなった。

2年生：42名（進級：37名・保留：1名・留年：4名・退学：0名・休学：0名）

※保留者1名は登校して学習・指導を行い、3月13日に学力確認試験後結果が出る。

3年生：40名（卒業：32名・留年：5名・退学：2名、休学：1名）

※留年者は5名。退学者2名は進路変更1名、学則上の退学1名。休学1名は出産の為

③臨床実習の対応（各学年の学内実習者数、学外実習、内容）

○1年生／見学実習（1週間×1）

対象学生：41名（学内実習者数：9名、学外実習者数：32名）

夏季：8月15日～20日、8月22日～27日（合計16名）

冬季：1月30日～2月4日、2月6日～11日、2月13日～18日（合計16名）

学内実習の内容：介護保険についての制度・体系の学習、通所リハについての学習、通所リハにかよう人のビデオ鑑賞とOTの仕事についてのグループワーク

○2年生／評価実習（3週間×1、2週間×1）

3週間：対象学生：40名（学内実習者数/補習者も含む：3名、学外実習者数：40名）

I期（1月10日～1月28日）、II期（1月30～2月18日）

学内実習の内容：過去の症例報告会データに基づく症例検討（セラピストの臨床思考過程を学ぶ）

脳血管障害疾患、神経内科疾患2例。和風会より提供頂いたADL動画を基にしたADLの評価方法・動作分析の説明、個人及び全体での検討

2週間：対象学生数：40名（学内実習者数/補習者も含む：22名、延べ学外実習者数：19名）

I期（1月10日～1月21日）、II期（2月6日～2月18日）

学内実習の内容：統合失調症、躁うつ病のDVDによる病状理解の学習、認知症予防教室「ほほえみ」での学生の企画実施、症例検討

○3年生／総合臨床実習（9週間×2）

I期（5月9日～7月9日）対象学生数：33名（学内実習者数：0名、学外実習者数：33名）

II期（7月25日～9月24日）対象学生数：33名（学内実習者数：0名、学外実習者数：33名）

④カリキュラム編成について

・次年度に向けてのカリキュラム変更はない。

【言語聴覚学科】

①卒業生数、国家試験結果

卒業生：14名（卒業率82%） 国家試験結果：14名中12名合格予定（自己採点合格率85.7%）

②入学者数、進級者数、留年者数、退学者数

入学者数：27名（3/16現在）

進級者数：28名、留年者数：0名、退学者数：0名（3/16現在）

③講義・臨床実習の学生状況（各学年の学内実習数・学外実習数、内容）

臨床実習：学内実習数は0名であったが、COVID-19関連で、時間短縮、在宅学習を取り入れた施設が、29施設中6施設であった。低学年の実習についても同様の結果であり、実習の目標は達成できている。

講義：基本的に、対面講義を中心に行い、専任教員の専門科目については、オンデマンド動画も利用したハイブリッド講義を実施している。実技に関しては、COVID-19の影響で、口腔・嚥下機能に関する検査や訓練を行わず、教員によるデモンストレーションと動画で補っている。最終学年の国家試験対策においては、オンラインでの個別指導を積極的に行い、時間外であっても支援できる体制で臨んでいる。

④カリキュラム編成について

言語聴覚士学校養成所カリキュラム等改善検討会(令和6年4月入学生)

○教員の配置数

○学习上必要な設備

○臨床実習時間の増加 ならびに 臨床実習指導者講習会の開催

→ 当初の予定より遅れが出ている。※ 令和7年度の開始の予測もあり

【介護福祉学科】

①卒業生数、国家試験結果

実績なし

②入学者数、進級者数・留年者数・退学者数

入学者数（2023年度）：29名（日本人15名、留学生14名（中国1名、ミャンマー3名、ベトナム10名）

進級者数・留年者数・退学者数

1年生：27名（進級：26名・留年：0名・退学：0名・休学1名※）※体調不良

休学者1名は令和5年4月から復学予定

③講義・臨床実習の対応（各学年の学内実習者数、学外実習、内容）

③-1 講義の対応：講義演習ともに対面授業にて実施し予定のカリキュラムは終了している。新型コロナウイルス感染者および感染疑いがある学生、濃厚接触者はオンデマンド形式で自宅でも学習ができるようにした。実技演習は生活支援技術食事介助の実技はモデル人形を用いて感染予防をしながら実施をした。グループワーク時にはフェイスシールドの着用を義務付けて感染対策の意識付けを行った。

③-2 臨床実習の対応

○1年生/介護実習 I-I（5日間）

対象学生：27名（学内実習者数：5名、学外実習者数22名）

学内実習の内容：通所介護施設の概要と職務の理解、コミュニケーションロールプレイ、バイタルチェックロールプレイ、自己紹介演習、介護実技ロールプレイ、ヒヤリハット演習等

○1年生/介護実習 I-II（8日間）

対象学生：26名（学内実習者数：5名、学外実習者数21名）

学内実習の内容：小規模多機能型居宅介護施設の概要と職務の理解、コミュニケーションロールプレイ、バイタルチェックロールプレイ、自己紹介演習、介護実技ロールプレイ、ヒヤリハット演習、病気の理解講義、他職種連携講義、事例検討等

○1年生/介護実習 I-III（9日間）

対象学生：26名（学内実習者数2名、学外実習者数23名、実習延期者数1名）

学内実習の内容：介護老人保健施設の概要と職務の理解、コミュニケーションロールプレイ、バイタルチェックロールプレイ、自己紹介演習、介護実技ロールプレイ、ヒヤリハット演習、病気の理解講義、他職種連携講義、レクリエーションロールプレイ、事例検討等

○1年生/介護実習 I-IV（5日間）

対象学生：26名（学内実習者0名、学外実習者26名）体調不良により2名が実習期間をずらして実施をした。

④カリキュラム編成

変更は特になし。介護福祉学科のカリキュラム目標は1年次に介護福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を体系的に習得する。2年次に国家試験に向けて専門分野の知識を深める。介護福祉に関する課題を主体的に解決し、介護福祉の増進に寄与する創造的な能力と態度を育てる、となっている。次年度はカリキュラムの変更は無いが学生から「手話」を学びたいとの意向があり1学年後期の「多文化共生」の授業内で外部講師を招いて「手話」を学べるように検討している。今後も学生の学びたい内容を反映できるようにしていく。

4. 協力要請（講義・実習）

2023(令和5)年度講義依頼予定

【理学療法学科】

依頼施設名	依頼講師名	継続/ 新規	依頼科目名	学年	前期/ 後期	依頼コマ数
	補助講師 2 名	新規	理学療法評価法 I	2	前期	4 コマ×14 回
	補助講師 5 名	新規	総合臨床実習前実技試験	3		6 時間×1 回
所沢リハ病院	池田祐輔先生	新規	神経内科学	2		1 コマ×15 回
	補助講師 5 名	新規	評価実習前実技試験	2	後期	6 時間×1 回
	補助講師 2 名	新規	検査測定法	1		4 コマ×14 回
所沢中央病院	黒田健太先生	新規	内部疾患患者への PT 治療学	2		2 コマ×3 回
所沢リハ病院	池田祐輔先生	継続	神経疾患患者への PT 治療学	2		2 コマ×15 回
所沢リハ病院	池田祐輔先生 黒原祐樹先生 中山大地先生	継続	基礎分野演習	3		2 コマ×1 回
多摩リハ病院		継続	専門分野演習	3		2 コマ×4 回
所沢中央病院		継続	総合分野演習	3		2 コマ×3 回
		継続	理学療法評価法 II	2		2 コマ×4 回 2 コマ×4 回

【作業療法学科】

依頼施設名	依頼講師名	継続/ 新規	依頼科目名	学年	前期/ 後期	依頼コマ数
所沢リハ病院	池田祐輔先生	新規	神経内科学	2	前期	1 コマ×15 回
多摩リハ病院	熊田敦夫先生	継続	作業療法管理学 I	1	後期	1 コマ×2 回
所沢リハ病院	池田健祐先生	継続	相互交流演習	1		1 コマ×1 回
千ヶ瀬ホーム	緑川潤一先生	継続	義肢装具学	2		1 コマ×15 回
	補助講師 1 名	新規	作業療法評価法 I	1		2 コマ×3 回

【言語聴覚学科】

依頼施設名	依頼講師名	継続/ 新規	依頼科目名	学年	前期/ 後期	依頼コマ数
所沢リハ病院	古谷祥宏先生	継続	発声発語・嚥下障害学IX (ケーススタディ)	2	前期	1 コマ×7 回

【介護福祉学科】

依頼施設名	依頼講師名	継続/ 新規	依頼科目名	学年	前期/ 後期	依頼コマ数
		新規	医療的ケア：喀痰吸引・経管栄養 実技判定および指導	2	後期	6 時間×6 回

2023(令和 5)年度法人臨床訪問予定

学科名	教員名	希望施設名	内容	時期、回数等
PT	佐藤譲司先生	特になし	実習時指導	実習時
	成塚修一先生	特になし	法人臨床,実習時指導	1回/月,実習時
	鈴木恒先生	多摩川病院	実習時指導	実習時
	小嶋陽香先生	所沢中央病院	法人臨床,実習時指導	8月以降
	西井琢馬先生	所沢中央病院	実習時指導	実習時
OT	岩田一鷹先生	特になし	法人臨床,実習時指導	1回/月 実習時
ST	委託訓練業務、カリキュラム改訂準備のため、現時点での法人訪問は見送り			
CW	鈴木健二郎	メグイア梅の園	外国人スタッフ管理部門との連携・職員研修・外国人スタッフへの研修・教材の提供	3-4回/年
	竹内克	メグイアイースト		

2023(令和5)年度実習依頼予定

【理学療法学科、作業療法学科】

総合臨床実習（3年）PT I期 R5.5.8(月)-7.1(土) II期 R5.7.24(月)-9.16(土)

OT I期 R5.5.8(月)-7/8(土) II期 R5.7.24(月)-9.23(土)

総合臨床実習	I期			II期			I II期計		総計
	PT	OT	小計	PT	OT	小計	PT	OT	
多摩リハ病院	3	計7	10	1	2	3	4	9	13
所沢中央病院	3	計6	9	1	2	3	4	8	12
所沢リハ病院	3	計6	9	1	2	3	4	8	12
メイアイト	2	計1	3	0	1	1	2	2	4
メイアイト梅の園	3	計2	5	0	1	1	3	3	6
計	14	22	36	3	8	11	17	30	47

検査測定実習（2年）I期 R5.7.31(月)-8.1(火), II期 8.2(水)-3(木), III期 8.7(月)-8(火), IV期 8.9(水)-10(木)

検査測定実習	7.31-8.1			8.2-3			8.7-8			8.9-10			PT計	OT計	総計
	PT	OT	小計	PT	OT	小計	PT	OT	小計	PT	OT	小計			
多摩リハ病院	2	3	5	2	3	5	2	2	4	2	2	4	8	10	18
所沢中央病院	2	3	5	2	3	5	2	2	4	2	2	4	8	10	18
所沢リハ病院	2	3	5	2	3	5	2	3	5	2	2	4	8	11	19
メイアイト	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	8	4	12
メイアイト梅の園	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	8	8	16
計	10	12	22	10	12	22	10	10	20	10	9	19	40	43	83

見学実習（1年）前期 R5.8.14(月)-18(金) 後期 R5.8.21(月)-25(金)

見学実習	前期			後期			PT計	OT計	総計
	PT	OT	小計	PT	OT	小計			
多摩リハ病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所沢中央病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所沢リハ病院	4	4	8	4	4	8	8	8	16
メイアイト	0	4	4	4	4	8	4	8	12
メイアイト梅の園	2	4	6	2	4	6	4	8	12
計	6	12	18	10	12	22	16	24	40

評価実習（2年）前期 R6.1.9(月)-27(土) 後期 R6.1.29(月)-2.17(土)

評価実習	前期			後期			PT計	OT計	総計
	PT	OT	計	PT	OT	計			
多摩リハ病院	5	4	9	5	4	9	10	8	18
所沢中央病院	5	4	9	5	4	9	10	8	18
所沢リハ病院	5	4	9	5	4	9	10	8	18
メイケアイースト	2	2	4	2	2	4	4	4	8
メイケア梅の園	3	2	5	3	2	5	6	4	10
計	20	16	36	20	16	36	40	32	72

【言語聴覚学科】

臨床実習Ⅱ（2年） R5.6.26(月)-11.25(土)のうち20日間または40日間

臨床実習Ⅱ	20日間	40日間	総計
多摩リハ病院	0	3	3
所沢中央病院	3	0	3
所沢リハ病院	0	3	3
メイケアイースト	3	0	3
メイケア梅の園	0	0	0
計	6	6	12

コミュニケーション障害演習（1年）Ⅰ期 R5.7.31(月)-8.4(金),Ⅱ期 R5.8.7(月)-12(土),Ⅲ期 R5.8.14(月)-18(金)

臨床実習Ⅱ	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	総計
多摩リハ病院	3	3	3	9
所沢中央病院	3	3	3	9
所沢リハ病院	3	3	3	9
メイケアイースト	1	1	1	3
メイケア梅の園	0	0	0	0
計	10	10	10	30

臨床実習Ⅰ（1年）Ⅰ期 2/5(月)-24(土) Ⅱ期 2/26(月)-3/16(土)

臨床実習Ⅰ	Ⅰ期	Ⅱ期	総計
多摩リハ病院	3	3	6
所沢中央病院	3	3	6
所沢リハ病院	3	3	6
メイケアイースト	2	2	4
メイケア梅の園	0	0	0
計	11	11	22

【介護福祉学科】

介護実習 I - I (1年) R5.7.31(月)-8.4(金) R5.8.14(月) -8.18(金)

介護実習 I - I	R5.7.31(月)-8.4(金)	R5.8.14(月)-8.18(金)	計
デイケアセンターウインド (デイケア梅の園)	2	2	4
デイサービスセンターパーク	2	2	4
計	4	4	8

介護実習 I - III (1年) R6.1.29(月) -2.8(木) のうち9日間

介護実習 I - III	R6.1.29(月) -2.8(木) のうち9日間		計
デイケア梅の園入所707	2		2

介護実習 II (2年) R5.7.31(月) -9.11(月) のうち30日間

介護実習 II	R5.7.31(月) -9.11(月) のうち30日間		計
デイケア梅の園入所707	2		2

2024(令和6)年度実習依頼予定

【理学療法学科、作業療法学科】

総合臨床実習（3年）PT1期 R6.5.7(月)-6.29(土) II期 R6.7.22(月)-9.14(土)

OT I期 R5.5.7(月)-7.6(土) II期 R6.7.22(月)-9.21(土)

総合臨床実習	前期			後期			PT計	OT計	総計
	PT	OT	小計	PT	OT	小計			
多摩リハ病院	5	5	10	3	4	7	8	9	17
所沢中央病院	5	5	10	3	3	6	8	8	16
所沢リハ病院	5	5	10	3	4	7	8	9	17
メイケアイースト	2	2	4	0	2	2	2	4	6
メイケア梅の園	3	2	5	1	2	3	4	4	8
計	20	19	39	10	15	25	30	34	64

検査測定実習（2年）I期 R6.7.29(月)-30(火), II期 7.31(水)-8.1(木), III期 8.2(金)-3(土), IV期 8.5(月), -6(火)

検査測定実習	7.29-30			7.31-8.1			8.2-3			8.5-6			PT計	OT計	総計
	PT	OT	小計	PT	OT	小計	PT	OT	小計	PT	OT	小計			
多摩リハ病院	2	3	5	2	3	5	2	2	4	2	2	4	8	10	18
所沢中央病院	2	3	5	2	3	5	2	2	4	2	2	4	8	10	18
所沢リハ病院	2	3	5	2	3	5	2	3	5	2	2	4	8	11	19
メイケアイースト	2	1	3	2	1	3	2	1	3	2	1	3	8	4	12
メイケア梅の園	2	2	4	2	2	4	2	2	4	2	2	4	8	8	16
計	10	12	22	10	12	22	10	10	20	10	9	19	40	43	83

見学実習（1年）前期 R6.8.13(月)-17(土) 後期 8/19(月)-23(金)

見学実習	前期			後期			PT計	OT計	総計
	PT	OT	小計	PT	OT	小計			
多摩リハ病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所沢中央病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所沢リハ病院	4	4	8	4	4	8	8	8	16
メイケアイースト	0	4	4	4	4	8	4	8	12
メイケア梅の園	2	4	6	2	4	6	4	8	12
計	6	12	18	10	12	22	16	24	40

評価実習（2年）前期 R7.1.14(月)-2.1(土) 後期 R7.2.3(月)-22(土)

評価実習	前期			後期			PT 計	OT 計	総計
	PT	OT	小計	PT	OT	小計			
多摩リハ病院	5	4	9	5	4	9	10	8	18
所沢中央病院	5	4	9	5	4	9	10	8	18
所沢リハ病院	5	4	9	5	4	9	10	8	18
メンテック	2	2	4	2	2	4	4	4	8
メンテック梅の園	3	2	5	3	2	5	6	4	10
計	20	16	36	20	16	36	40	32	72

【介護福祉学科】

介護実習 I - I（1年）R6.7.29（月）—8.2（金） R6.8.13（月）—8.19（月）

介護実習 I - I	R6.7.29(月)-8.2(金)	R6.8.13(月)-8.19(金)	計
メンテックセンターウインド（メンテック梅の園）	2	2	4
メンテックサービスセンターパーク	2	2	4
計	4	4	8

介護実習 I - III（1年）R7.1.27（月）—2.6（木）のうち9日間

介護実習 I - III	R7.1.27（月）—2.6（木）のうち9日間	計
メンテック梅の園入所フロア	2	2

介護実習 II（2年）R6.7.29（月）—9.9日（月）のうち30日間

介護実習 II	R6.7.29（月）—9.9日（月）のうち30日間	計
メンテック梅の園入所フロア	2	2

5. 意見交換・その他

前回の意見への回答

人見太一氏（杏林大学）

就職に関して、在学生及び留学生の心理的サポートについて意見があった。

【介護福祉学科】

日本の在学生に関しては個別に担任が相談にのり、給料だけで探さずに見学をして雰囲気を知り法人のことも調べるようにアドバイスしている。留学生は就職先が決まっている状態であるが実習先と自分のアルバイト先の比較をしてしまい不安になることがある。勝手な思い込みで不安視することもあるため留学生の学費支弁先法人担当者と連携をしている。

【理学療法学科】

今年度も学生の希望する範囲で履歴書（ほぼ全ての学生）及びレポート・課題添削、模擬面接（全体 2/3 の学生）を行った。結果として、年内内定率 86.5%、2 月末で 89.2%となっている。

【作業療法学科】

「就職に関して」主として3年を対象となるが、募集施設の紹介、卒業生の有無など就職委員を中心として情報提供し、履歴書の書き方、面接指導、心理的なサポート含め行っている。

赤松栄晃氏（所沢リハビリテーション病院）

ST の魅力を伝える難しさ等について意見があった。また実習は担当症例を持った方が指導しやすいとの意見があった。

【言語聴覚学科】

本科は、1 年次の退学者撲滅を理由に「言語聴覚士の魅力を楽しく伝えよう」を学科目標としている。専任教員では、それぞれが携わる臨床の動画や話しを行い、職種の特徴や職域、やりがいなどリアルな話を行うよう徹底した。さらに成功体験のみならず失敗体験を意図的に伝えるようにし、目指す資格の難しさも併せて伝えるようにした。学生簡易アンケートからは、「失敗例を聞くことで、学生は、印象に残った」「先生でも失敗があるものなんだ」「自身が行う際の注意点として深く理解できた」など正の意見を多く聴くことが出来、良い効果が得られている。また、現場の言語聴覚士を入学後早い段階でお招きし、職種や仕事の内容をご教鞭いただいた。職種の理解や動機付けの一助となり、退学者は令和 4 年度入学生においては、現在 0 名という結果となっている。入学時から言語聴覚士を目指す動機が希薄な学生が多い中であるが、次年度以降も学科教員全員で取り組みを継続していきたいと考えている。

池田健祐氏（所沢リハビリテーション病院 リハビリテーション科技士長）

留年しないよう対策について意見があった。

【作業療法学科】

「留年しない対策に関して」1 年の終わりに進路変更で退学する学生が多い。やりがいのある仕事である事が分かっておらず、ストレスがかかるとすぐ諦めてしまう。そこで卒業生から講義をうけ目的意識、モチベーション向上を図っている。学習についてはグループワークを活用し、授業の復習、学生同士での学習を推奨している。2 年の授業は聞くことに徹しないで、考える事を求め授業に当たり予習的要素を求めている。3 年は国試対策が中心となるが、進級早々に学力確認を行い実習中も学習を促し、業者試験で自信付けを目指している。

【理学療法学科】

再試験不合格者には個人および保護者への確認を行い、補習の実施を踏まえ再々試験の実施を行っている。この

期間で学生は危機感により生活習慣の改善や報連相などの行動変容は確認できている。

【介護福祉学科】

再試前に授業を担当された先生に補講をお願いするなどして対応をした。留学生に関しては入管から8割の出席率を在留条件として求められているため体調管理やアルバイトをしすぎないように指導をしている。

【言語校各学科】

本科は過去5年を見た際に、休学による留年者は2名であり、それぞれ病気（精神的不安定）によるものであった。本人の特性が大きくなるが、本科は、学科教員による個別面談を年2回行い、その中で不安な学生については、週1回から隔週2回の頻度で個別面談を実施している。また、臨床心理士と連携し、精神的不安定な学生に関しては、互いに情報共有を行い、役割の確認と一貫性ある対応ができるよう努めている。

池田隆純氏（医療法人社団和風会リハビリテーション部長）

学生募集の仕方について、教員も学科だけでなく学校全体の魅力を伝えられるように意見があった。学生は人数の少ない学校には入ってこないという意見があった。

【広報委員会】

毎年春先に事務長から全職員を対象に2日間に分けて、入口中身出口についての検証会を行っている。数字をもとに検証し、改めて学校全体の特徴を把握してもらい教員は全員高校訪問に行ってもらっている。結果については、訪問対象校（東京、埼玉、神奈川、山梨、長野）177校の内、42校86人が受験してくれた。傾向としては多摩地区の高校が中心。1校から複数名受験の高校が42校中20校となった。偏差値は45～48が中心。地域の高校から複数名の受験は良いことだがもう少し偏差値の高い高校からの受験、新規開拓を目指していきたいと思う。また引き続き地域の高校からの受験を増やせるように営業していきたいと思う。

【介護福祉学科】

学校全体、地学地就の精神、連携教育など学校全体の魅力を学科教員が伝えられるようにしている。体験会や模擬授業を通じて実施している。

【作業療法学科】

「学生募集に関して」体験会、個別見学の丁寧な対応と高校からの特別授業にも力を入れ先方に出向いて授業を行っている。

大堀隆二氏（社会福祉法人一石会統轄施設長、青梅商工会議所常議員）

募集状況について、どこの数字を伸ばすには何をしたら良いかを検討してくださいとの意見があった。

【広報委員会】

1. 体験会参加者を増やす方法として①SNSで模擬授業担当者を事前にアップ②SNSを通じて体験会予約を促す③毎月、各学科でデザイン、内容を変えてDMを送付④体験会で面接対策、作文対策を導入
全体数としては昨年と比べ-49名。高校生の動員が減少した。ただ、動員の増加対策として①と④を始めた8月から現在までの動員を比較すると+79名となっている。

来年度の対策としては、今年度の対策を続けながら新たな対策として、①ホームページのトップページリニューアル②面接対策、作文対策の前倒し（今年度は9月からだったが来年度は7月から実施していく）③各学科の特徴を整理し、チラシを作成（競合優位性）④学校、授業の様子SNS投稿数を増やすことを実施していく。

2. 体験会から入試への歩留まりを上げる対策として今年度の取組としては①学生スタッフの増員②受付からの席の誘導、学院説明が始まるまでスタッフが参加者と会話。（ウェルカム感をもっと出す）③学院説明で具体的なイメージができるように数字にて示す。④介護学科の受験者を増やす対策として、学院説明の前に介護福祉学科

の特徴をお話します。以上のことを取り組んできましたが結果としてはPT以外歩留まり率は下がってしまった。来年度の新たな取り組みとしては①動員が増える夏場の時期は更に学生スタッフを増やす②各学科模擬授業の充実③体験会に参加してくれた方で是非受験してもらいたい方へ後日教員から電話。及び高校訪問し先生に受験してもらいたい旨を伝える。を実施し歩留まり率を上げていく。

【介護福祉学科】

体験会参加者の入試受験率は4割を超えているため、介護福祉学科では体験会参加者を増やせるように高校訪問や模擬授業に力を入れている。介護福祉学科プロジェクトにおいて毎月参加者を増やせるようにSNS媒体での広報の仕方などを検討し実施している。

大堀隆二氏（社会福祉法人一石会統轄施設長、青梅商工会議所常議員）

また留学生の教育は大変だと思うが施設側ではどういう介護福祉士を期待しているか等の意見も取り入れて教育してほしいと意見があった。

【介護福祉学科】

介護実習巡回時に施設からの意見を聞いたところ、規則に関してややルーズな人もいるので日本では「時間を守る」「報告連絡相談」を徹底すること「自己判断で勝手なことをしないこと」がまずは求められることを指導してほしい。「原理原則の理解と知識を学校でしっかりと学んで介護の根拠を理解してから来てもらえると現場では伸びる」などのご意見をいただいたので法令順守や報告連絡相談の徹底と原理原則の理解を教育していきたい。

黒田英寿氏（多摩リハビリテーション学院専門学校事務長、青梅商工会議所常議員）

学生募集状況について歩留まりを上げるよう意見があった。

【広報委員会】

体験会から入試への歩留まりを上げる対策として今年度の取り組みとしては①学生スタッフの増員②受付からの席の誘導、学院説明が始まるまでスタッフが参加者と会話（ウェルカム感をもっと出す）③学院説明で具体的なイメージができるように数字にて示す④介護学科の受験者を増やす対策として、学院説明の前に介護福祉学科の特徴をお話するなどのことを取り組んできたが、PT以外歩留まり率は下がってしまった。

来年度の新たな取り組みとしては①動員が増える夏場の時期は更に学生スタッフを増やす②各学科模擬授業の充実③体験会に参加してくれた方で是非受験してもらいたい方へ後日教員から電話及び高校訪問し先生に受験してもらいたい旨を伝えることを実施し歩留まり率を上げていく。

【介護福祉学科】

体験会授業で出来るだけ座学ではなく体験演習が出来るものを入れて楽しさを感じられるようにしている。その後のフォローなどもしていく。

黒田英寿氏（多摩リハビリテーション学院専門学校事務長、青梅商工会議所常議員）

今年度は職業実践専門課程の申請もしっかりできるよう意見があった。

【介護福祉学科】

令和6年度申請、令和7年度受託開始の予定となるため他学科の申請などを参考に準備をしていく。